

味生地区タウンミーティング(要約)

平成26年9月27日(土曜日)

【市長】 皆さんこんにちは。今日は土曜日の午後でございます。皆さん何かと予定もあったのではないかと思います。このように大勢の方にご参加をいただきまして本当にありがとうございます。この味生地区のタウンミーティングの開催にあたりましては、味生地区の役員の皆様方、また味生小学校、味生第二小学校、そして津田中学校の3校の関係の皆さんにご協力いただきました。本当にありがとうございます。さて、このタウンミーティングですけれども、私が市長に就任をさせていただいてから始めました。どっちが楽かという話をすると、市役所で待っていて皆様が来られるほうが楽です。でも、果たしてそれでいいんでしょうかと思いました。各地区でお困りの点もあるでしょうし、課題もあるでしょうし、また逆に魅力もあるでしょう。そういったところを我々から出向いて教えていただいて、そして、できることからできるだけ早く市政に反映していこうという気持ちでタウンミーティングを始めました。そして松山市は41地区に分かれるわけですが、41地区をすべて1巡させていただきました。この松山市版のタウンミーティングの特徴ですが、できるだけこの場に出た皆さんのご意見に対しましては、できるだけこの場でお答えをして帰りますけれども、中には国と関係する案件とか、県と関係する案件とか、財政的な問題があるもの、こういったものをいかげんな答えをして帰るわけにもいけませんので、そういったものはいったん持ち帰らせていただいて、1カ月を目処に必ず返事をする、聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしないのをモットーにタウンミーティングを重ねてまいりました。1巡では終わりません。今、2巡目に入っているところでございます。今日は小学生の皆さん、中学生の皆さんがお越しですけれども、緊張されていると90分間疲れてしまいますので、あまり緊張なさらずにざっくばらんな意見交換ができればと思っておりますので、今日はどうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 味生地区の町内会長連絡協議会の会長をやっております。よろしく申し上げます。先ほど、前回の対応状況を市長からご説明をいただきまして、すぐに対応をしていただきまして本当にありがとうございます。地区を代表いたしましてお礼を申し上げておきます。今回の私の要望ですけれども、味生地区には南斎院町と北斎院町という大きな集落がございます。味生地区全体で1万軒ほどございますが、その内、北斎院町で2,500軒をしめております。南斎院町が2,000軒です。ところが住居表

示ではなく地番のみの表示でございまして、このお宅を探すという場合に北齋院町○番地という表示しかございません。私は役職柄、色んな役員さんのところを訪問するのですけれども、2,500軒の中から1軒を探すわけですから住宅地図を探す場合でもわからないんです。ところによりますと○町○丁目という区分けがございましてけれども、これが松山市さんの管轄がどうかわかりませんが、できましたら北齋院町あるいは南齋院町に○丁目という区分をやっていただきたいというのが要望でございます。

【市長】 例えば1丁目とか2丁目と住所の表記が変わるのだったらお子さんたちも気になることだと思いますので、できるだけお子さんにもわかるように、どういう仕組みになっているのか教えてもらったらと思います。

【都市政策課長】 都市政策課の川口でございます。よろしくお願いたします。ご意見ありがとうございます。ただいまのご意見は住居表示についてのご意見だと思いますけれども、松山市では昭和39年からこの制度を取り入れまして住居表示を実施しております。現在まで市内の人口集中地区を中心に、約48パーセントの地区でこの住居表示を行っております。この近くでいいますと空港通が最近住居表示をされまして1丁目から7丁目まで住居表示がされております。この住居表示は地元の皆さんの合意形成ができた地域から順次実施をしております。この住居表示をしますと訪問される方が目的地の建物を探しやすくなったり、郵便物の間違った配送がなくなったりするメリットがございまして、ただ、住民の方も住居表示をした後には、運転免許証や銀行に届けている住所などの変更を住民の皆さん自身がしていただくことになりまして、一定のご負担をかけることとなります。松山市ではこの制度は都市デザイン課が中心になって行っており、パンフレットを持ってきておりますので、またご説明をさせていただきたいと思っておりますので、ご連絡をいただいたらと思います。

【市長】 今、メリットとデメリットを挙げさせていただいて、確かに探しやすいところがあるんですけども、皆さんが住居表示の変更で北齋院町○番地だったのが、北齋院1丁目になることによって手続きが必要になるデメリットもあるということです。でも、これは役所として反対するとかいうものではなくて、皆さんの総意で決めていくものだと思いますので、そういう気運といいますか皆さんでどうするか検討させていただきたいと思っております。

【都市政策課長】 地元の皆さんで話し合ってください。皆さんの総意ということで申し出をいただきましたら、これは議会の議決も必要なのですぐにはできないですけども、順次そういう手続きを行っていきたく思いますのでよろしくお願いたします。

【市長】 また皆さんで話し合っただけであればと思いますし、そして市役所としても手続き上とか話し合いを持つのが難しいとかありましたらサポートさせていただきますので、遠慮なく言っていただきたらと思います。

【男性】 味生民生児童委員会会長です。要望としましては福祉活動の拠点を何とかしていただけないかということですが、味生地区は人口が2万6,138名で、松山市41地区で5番に匹敵する人口で、その中で65歳以上の高齢者が24パーセントの6,273人という非常に高齢者が増えてきているんです。また、寝たきりとか独居や認知症といった面も非常に増加している傾向です。そういうことから地域の住民との色んな交流とか話し合いを持つ場所がほしい。今、支所をお借りして活動をしているんですけれども、我々民生児童委員は無休無給のお仕事で、いつ色んなことが出るかわからない。そういうときにいろいろな事務処理をしたいケースがあるんですが、土日どうしても緊急を要したときにはできないことがありうるので、こういう面で拠点を設けていただきたいなという要望です。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課長の西市です。本日はどうもありがとうございます。地区の民生児童委員さん、また社会福祉協議会の皆さんには日ごろから地区のお世話をいただいて、この場をお借りしてお礼を申し上げます。お話にありました地区の拠点ですが、民生児童委員さんが主体になって、ふれあいいいきサロン事業とか福祉サービスの独居高齢者への訪問事業などもされておりますので、私どもとしても地区の拠点を公民館とか支所などの身近な拠点で実施されることを望んでおりまして、そういう場を皆さんに活用していただいているのが現状です。望まれました地区の拠点は、今、松山市の41地区で民生児童委員さんとか地区社協の方が市有施設を専属で持っている事務所はございません。我々としても新たな拠点を整備することは財政難の中では大変難しい状況ですので、地域の実情に応じた従来どおりの公民館や支所などを活用していただきたらと思っております。今日いただいたご意見は、地域の役をされている皆さんにご不便をかけている部分を何とかしないといけないと思っておりますので、この意見を参考に今後色んな部分で検討していきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

【市長】 また、地域で例えば空き店舗がありましたら空き店舗を活用する方法もあると思います。このキャッチボールを続けていただきたらと思いますので、遠慮なくおっしゃってください。お願ひします。

【男性】 道路のことを要望したいと思います。今、味生地域には東西の

道路が2本ありますけれども、私が言っている道路は都市計画道路あるいは幹線道路のことです。一番南に以前からの16メートルの空港通りがあります。それと最近開通した新空港通りの2本しかございません。私が要望するのは市道か県道かによって松山市さんをご回答かどうかわかりませんが、南北の道路が1本もございません。先ほど前回のことで味生小学校の狭あいなところがあると出ておりましたが、岩子山がありまして西に弁天山がありますけれども、この間には1本も道路がありません。私が言いました道路というのは車道と歩道があり街路樹や駐車帯がある道路のことです。これは長期的な問題ですから即答はできないと思いますし、そういう計画でもあれば言っていたらと思います。余土とか富久方面から三津へ行くといったら全部が行き止まりの道でクランクのような道しかございませんので、ご検討をいただいたらと思います。それと、支所の問題で出ておりましたけれども、現在の支所のところを検討していただいても、あのような狭あいなところでは無理です。だから今度ご検討いただくのは、移転してどこか広いところへということを追加させていただきます。もう1点、松山市さんからお答えがありました住居表示ですが、南斎院は今検討をしています。しかし、正直に言って住民の合意が得られない。南斎院の3町で私も町内会長をしていますからパンフレットをもらって説明をしましたが、反対がほとんどです。手続きを松山市さんが全部していただければ問題がないのですけれども、何割かは個人がやらないといけない。それでなかなか同意が得られない。今日お見えの皆さんはやりたいと思うんですけれども、町民の方はなかなか同意が得られない。そういうことを中間の立場で申し上げておきます。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。幹線道路についてご意見をいただきましてありがとうございます。実は味生地区の南北の幹線道路は、今、松山観光港と空港通りを結ぶ高浜高岡線という都市計画道路が計画決定をされております。これは昭和40年に計画決定をされておりますけれども、現在までほかの地区で順次整備は進められており、ご存知のとおり松山観光港と国道の437号を結ぶ区間は県道として県がすでに整備をしております。残りの国道437号から空港通りまでの延長約3,200メートルの区間が味生地区の区間ですけれども、これについては現在未整備でございます。県が事業をするのか松山市が事業をするのかは、まだ決まっていない状況でございます。都市計画道路は松山市全部で64路線ございまして、整備率が65パーセント程度しか整備をしております。現在、財政状況等を考えますと、すぐにこれらの路線を整備するのは先ほども言われましたように非常に難しい状況でございます。松山市では現在、

昨年一部が開通しました外環状道路の整備とJR松山駅周辺の整備にもなって3本の都市計画道路の整備を行っております。その後、次期の整備路線を検討していくことにしておりますけれども、この地区に南北の路線がないことは承知しておりますので、中長期的な視野に立って今後検討を進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いをいたします。

【市民部長】 市民部長の片山と申します。どうぞよろしくお願い致します。支所の件についてお答えをいたします。味生支所は昭和50年の2月に建築をされております。建築されて約40年で、耐用年数はまだ20年程度はあると思いますので、当面は耐震補強をさせていただければと思います。これは来年度以降に工事の実施設計とか施行を計画しております。それと耐用年数がまだありますので、建て替えは今後のことになると思いますので、ご理解をいただければと思います。よろしく願いいたします。

【市長】 私から補足をさせていただきます。タウンミーティングをさせていただいて、こうやって皆さんからいろいろご意見をいただきますけれども、市・県・国とあると市が1番皆さんと距離が近いですね。ですから、私らが現場に出て皆さんから声をいただくのを大事にしたいと思って、このタウンミーティングを重ねてきました。やはり声をいただかないと優先順位も間違ってしまう。私も皆さんから要望をいただくと、お金の余裕があればやりたいんです。「わかりました、やりましょう。」と言えたほうが私も楽です。でも、皆さんご存知のように報道でも聞かれますが、国自体が1千兆円の借金を抱えている状態であります。これは仕送りに例えるとわかりやすいですけれども、大もとの国から地方に地方交付税交付金とか国庫支出金というかたちで地方にお金が回ってきます。でも、大もと自体が大きな借金を抱えているので、これから地方に回ってくるお金が増えるとはとても考えにくいわけです。決まったお財布の中でやっていかなければいけません。少子高齢化といいます。私も高齢化していきます。どちらかというとお世話になる立場になっていきますけれども、片や少子で子どもの数は少ない。世の中に私は税金を払いたくてたまらないという方はまずいないと思います。ごみの収集がわかりやすいのですけれども、ごみを収集するのは皆さんの税金を使わせていただいてやっていますけれども、ごみを収集する人の数が要ります。ごみ収集車が要ります。ごみは一般的には燃やしますから、ごみ処理場に持って行って焼却処分をいたします。ごみの量が少なければ、ごみの焼却施設も長持ちするんです。そういうどうしても必要なお金を義務的経費といいます。松山市は面倒臭いことを言うなあと思われるかもしれませんが、ペットボトルの話を。昔はそのままごみに出すことができましたけれども、今は皆さんに

お手数をおかけしてキャップとラベルとボトルを別々にして出してくださいと申し上げています。それには理由がありまして、このままで出してしまうとただのごみにしかたないのですが、昔はごみ処理場で作業員の人に分けていたのですけれども、今は分別してペットボトルだけにして出していただくと、実はペットボトルでネクタイをつくったりとか、スーツをリサイクルでつくることのできるんです。このペットボトルはリサイクルの優等生と言われているぐらいで、きれいにしてペットボトルだけ出すと高い値段で引き取ってくれるんです。そのお金を松山市の財政に入れることができ、義務的経費は節約をして、そして政策的な経費である教育とか福祉にあてることのできるんです。皆さんにお手数ですがそれをお願いしている。今、松山市はおかげさまでごみの少ないまち、50万人以上の都市の中で7年連続日本一で全国最少を記録しています。こうやってやりくりをしているわけですが、私としてもお金があれば「わかりました、それやりましょう。」とできるんですけれども、いったん市がものをつくってしまうと20年・30年経つと維持管理費が特に膨れてまいります。毎年必要ですけれども、子どもたちの世代が負担をしなければならないということで、維持管理のことも含めてお金の使い方を考えていかなければならないと思っています。ただ、何も作りませんというのではなくて、こうやって皆さんからご意見をいただいて、支所のことでもあそこで耐震補強をさせていただくのがいいのか、それとも色んなことを総合的に判断をして検討してほかの場所に新築するという手はないのか。また、道路のことでも色んなことを考えて、やはり1本通すべきではないのか、さまざまなことをこうやってタウンミーティングからご意見をいただいて検討していきたいと思っておりますので、これはいったん持ち帰らせていただいたらと思います。よろしくお願いいたします。検討させていただきます。

【小学生】 ぼくは部活をやっていて夕方に帰るんですが、高家八幡神社からさや教会にかけての道が夕方から夜にかけて暗くなって夜の帰り道が危ないので、もう少し電灯が増えたらいいと思っています。

【市民部長】 市民部の片山です。よろしくお願ひします。防犯灯ですけど、生活道路に街路灯がよくついていますよね。暗いところで何とかならないかといったら街路灯をつける方法があると思います。防犯灯は町内会とか地元の団体でつけるんです。その町内会等に市から防犯協会を通して補助金を出します。費用を援助するわけです。そしていろいろ協議してここに付けましょか、どうしましょかということをして、皆さんが了解していただいたらつけられるようになります。地図を持って来ていますから、後でどこかを教えてもらえますか。それで松山市から町内会に連絡を

させていただいて、こういうお話がありましたと相談してみたいと思います。ただ、どこでもつけられるわけではないんです。植物があつて育ちが悪くなるとか、明るくて夜眠れないという人もいます。そういうこともありますので、町内会の方と相談させていただくということで構いませんか。後で場所を教えてください。お願いします。

【市長】 松山市には全域で3万の防犯灯があります。松山市が一括して管理することになると、例えば球が切れていると対応が遅れますよね。ですので、地元の方々に管理していただくのがいいだろうということで地元主体でやっています。そこにお金をサポートさせていただくというのが大まかな流れです。私が前の仕事で南予の三間高校へ行ったとき、そこは周りが田んぼですけどナイターで野球の練習ができないと言われて「何ですか」と聞いたら、稲は照明がついていると育ちが悪くなるんだそうです。田んぼに近いところは、ここはやめてくださいというところもあったりする。また、先ほど言ったように、家に近いから眩しすぎて寝れないというご意見もたまにあるので、場所は選ばないといけませんけれど、つけることはできますから町内会の方と相談をしてというかたちになりますけど、「ここに付けてほしいです」と言ったら我々もサポートします。また言ってください。今日は90分間ですけども、15時30分になったらすぐに帰るのではなくて、しばらくおります。例えばこの水路のところがちよっと危ないように感じるとか、ここの道がとか、街灯をつけてほしいという意見は、我々は聞きたいと思っていますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。よろしくお願いします。

【男性】 防犯相談所長とか広報委員等をさせていただいております。よろしくお願いします。私からは特殊詐欺事件の松山市における防犯対策についてお尋ねさせていただきたいと思います。先般の福祉大会のときに市長さんのご挨拶の中にも出ておりましたが、ご承知のとおり、オレオレ詐欺から始まりまして還付金詐欺、あるいは金融商品取引とか送りつけ詐欺等々、特殊詐欺事件が多く発生しております。特にこの被害者は私のような高齢者がほとんどでございまして、65歳以上の高齢者が全体の70パーセントを占めています。そのうち女性が67パーセントくらいを占めているということで大変多いです。市におかれましても、先般松山市内にある3警察所とこれら詐欺被害の防止対策ということで協定を結ばれているように聞いております。つきましては高齢者に対する特殊詐欺事件の防止対策について、市としてどういう取り組みをされているのかをお尋ねしたいと思います。よろしくお願いします。

【市民部長】 特殊詐欺被害防止対策ということで市の取り組みについて

お答えさせていただきます。今日の愛媛新聞にも出ていましたけれど、市の保健課を名乗るということで、西署管内で80万円くらい被害を受けた記事が出ていましたけれども、市と警察との協定について取り組みをこれから何点か述べさせていただきます。基本的には啓発チラシの配布と高齢者の皆様への直接の注意喚起です。具体的に申し上げますと、広報まつやまにチラシを差し込んで全戸配布いたしました。そして市民税課の通知書にチラシを同封いたしました。介護保険課の通知書に注意文を出しました。広報まつやまにも啓発の関係で記事を出しました。ほかにも介護の関係とか前期高齢者の方の所得証明書とかにチラシを同封しております。可能な限りチラシを送っております。それと給食サービス利用者の方へのチラシの配布とか、広報関係はやっております。それと警察との取り組みですけど、一人暮らしの高齢者に警察官と民生児童委員さんと同行訪問して、直接注意を呼びかけるといった効果的な啓発を行うことになっています。所轄の警察署と民生児童委員さんで訪問時期とか件数の打ち合わせを行っていただいて、逐次高齢者の方のご自宅へ訪問することにしております。

【市長】 数字を挙げるとよりリアルに実感として感じられると思いますから、松山市の特殊詐欺について述べます。今年の1月から6月末、今年の前半でいうと、松山市民の方で特殊詐欺の被害に遭った方が18件、被害総額約1億6千万円、1件当たりの被害金額は約900万円となっています。一生懸命働いて、900万円を持っていかれるのは非常に腹立たしいことですね。松山市としても先ほど申し上げたように、できるだけその被害を少なくしたいですから、踏み込んだ対応をしようということで、松山には東署、西署、南署がありますけれども、警察と協定を結ばせていただいて、例えば民生児童委員さんが家を訪ねる場合がありますけれども、協定を結ぶことによって警察の方と一緒にいくことができるようになりました。さまざま動きやすくするために協定を結んだ。できるだけ被害を防止していきたいと思うのですが、被害の多くは女性です。対象は60歳から80代の高齢者の方がやっぱり多いです。どういう手口かという、ダイヤモンドの購入を持ちかける。老人ホームの権利のことについて話をしてくる。未公開株・社債・外国通貨の取引、必ず儲かるといった口車に乗せようとしてくる。例えば事前にパンフレットが送られてきて、電話で買いませんかと持ちかけて、郵便でお金を送らせるというのが特徴としてあります。ギャンブル必勝法を教える詐欺もあります。ナンバーズやロト6、競馬などの当たり番号を教える代わりにお金を振り込ませる手口というものもあります。必ず儲かるという話はありません。それだったら皆さんのお家に昔の言い方をするとお蔵が建っている家がいっぱいになってい

と思います。必ず儲かるということはありませんので、まず口車に乗らないように、ちょっと怪しいと思ったら1回切ることもできると思いますので、周りの方に相談するとか、1件あたり900万円という被害が出ておりますので、一生懸命働いて貯めてきたお金をそういうことで取られるのは非常に悔しいことだと思いますので、我々としてもまた対策を進めていきますけれども、皆さんも心のガードを持っていただければと思います。よろしくをお願いします。

【女性】 味生第二小学校PTA会長です。よろしくをお願いします。通学路の歩道橋についてお尋ねしたいと思います。現在の歩道橋には自転車の横断帯がなく、自転車は歩道橋の上を押して渡っているのが現状ですけれども、毎年保護者の方から自転車は車両扱いだから下を渡るの正しいのではないかというご意見をいただいたりして、私どもも回答に困っている状況です。大人が下を渡ってしまうと子どももついて渡ることもありますので、市としてというか道路交通法としてどう渡るのが正しいのか、また横断帯等をつけていただける予定があるのかどうかをお聞きしたいと思えます。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。ご意見ありがとうございます。今の歩道橋の場所は新空港通りのところですか。あそこの歩道橋は確か真ん中にスロープの部分があって自転車が通れるようになっていると思います。そこは自転車が通って結構だと思いますけれども、自転車は道路交通法が変わりまして軽車両という扱いで、基本的には車道を通りしていただく。それも車と同じ扱いで車道の左側を基本的には通行していただくのが新しい通行の仕方でございます。歩道橋の中で自転車が通れる施設をつくっているところはそこを通過していただいて結構だと思います。ただ、13歳未満と高齢者の方は一般的に歩道も通ってもよろしいということになっています。それ以外は自転車通行可能な歩道がありますけれども、そこは歩道を通っていただくということですが、基本的には車道を通っていただくのが正解でございます。以上でございます。

【女性】 何度もすみません。今のお話で小さい子どもとか高齢者は歩道橋を使ってということではなく。

【都市政策課長】 歩道橋に自転車が通れる施設があるところは皆さん歩道橋を通過していただいて構いません。あそこは自転車可能な歩道になっていると思いますので、自転車も通って構わないと思います。自転車と歩行者を両方表示しているところがありますが、その歩道は自転車も通行可能になっております。

【女性】 子どもが、本当は上を通るのが一番いいだろうと思うのですけ

ども、ブレーキ使いながら下りる作業が危ないこともあるんですよ。押して通っても自転車が前に行ってしまうと、道から外れて階段のほうにガタガタと行ってしまうご経験がたぶん子どもさんお持ちの方はみんなあると思うんですけど、もしできるのだったら自転車の横断帯みたいなのを付けていただいて、自転車を乗っている子どもも下を行けるようにするのはどうかなと。私も迷っているんですけども、何かご検討いただけたらと思って。

【都市政策課長】 新空港通りは県道になっておりまして、ご意見を県とか警察にお伝えしたいと思えますけど、聞いていますのは、基本的に歩道橋の下には横断歩道はつくらないと聞いています。ただ、自転車の通行帯はつけている場所を私も知っていますので、その辺のところはまた要望させていただきたいと思えますのでよろしくお願いします。

【市長】 今、いい気付きを与えていただいたと思うんですが、確かにそうだなと思って。市道であれば市が歩道橋をつくるんです。歩道橋の真ん中にすべり台みたいになっているところがありますけど、確かに自転車が重かったら行ってしまうだろうなと思いました。例えば、子ども目線ってすごく大事だなと思って、松山市では子ども目線の交通安全マップづくりをさせていただきました。実は金沢に子ども目線の交通安全マップづくりの権威の方がいらっしゃるんです。女性ですけども、お母さん世代の方です。三国さんという方ですが、会いに行かせていただきました。大体、交通安全マップづくりは家庭に1枚地図を渡すんです。危ないと思うところを丸してくださいというやり方をするんですけども、大人は見えると思っていても子どもの目線になると実は塀で隠れていて見えないところがある。それで子どもにも1枚地図を渡して子ども目線の交通安全マップづくりをしてくださいというお話をいただいて、2年かけて松山市では全部の小学校で子ども目線の交通安全マップづくりをさせていただきました。そこで歩道橋を確認していたかというのと、ちょっと疑問符だなと思いました。私、自転車を押して歩道橋に最近行っていないので、実際にどうなるかわかりませんが、例えば歩道橋の自転車の通るところをわざとガタガタにしてスピードが出ないようにすることもできるのではないかと思いますし、択一化してこれはできませんというのではなくて、歩道橋を通らないで下を歩いていて事故に遭ってしまったらいけないという思いもありますし、知恵と工夫でやれることがあるんじゃないかと思いますので検討させていただいたらと思います。いいことを教えていただきました。ありがとうございました。

【中学生】 津田中学校生徒会です。よろしくお願いします。私の家の近

くに十字路があって、1年に2、3回は事故が起きているところがあります。そこにカーブミラーが1つもないのでつけていただくと事故が減ると思うのでぜひつけていただきたいと思います。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。ご意見ありがとうございます。後ほど詳しい場所を教えていただけたらと思います。カーブミラーの設置は地元の町内会長さん、もしくは地元におられます交通指導員の地区会長さんの要望によってつけるようになっていきますので、場所を教えてくださいましたら、私からも町内会長さんにお話させていただきますので、この後場所を教えてください。ありがとうございます。

【女性】 交通安全協会支部長です。今回、交通安全じゃなくて公園ですけど、津田団地の公園は立派な遊具も備わっております。市役所が分譲していただいて50年経ちました。そのときに津田団地東のある場所が、以前は集会所建設だったんですけれど、それはだめになりまして、今現在は公園緑地課の管轄で、その後に協力会が誕生したんです。そこで、独立した状態で会長さんを設けられたんです。その会長さんが、かなり権威がございまして、以前は賞をもらったりして花公園として誕生しました。メンバーさんもたくさん誕生しましたが、今現在その方たちはご高齢になられまして、足が悪い、腰が悪いで、もうリタイアしました。現在、会長さんともうお一人の方が、長い間なさっているんです。大きなブロックの花壇がありまして、私も昨年町内会長をさせていただいたんですけど、見るに見かねない状態です。ただ、津田団地だけでなく、周囲の地域の方が津田公園に散歩をなさったり歩いたりして、運動をしていらっしゃるんです。そこにベンチもないので、お年寄りの方はどこに座るかといったら、ちょっと小高くなっている溝の石垣みたいなところに座っているんです。どう思われますでしょうか。最近、防災と言っていますが、あそこをもう少し広くして、何もお金のかかるような希望はしません。市役所の方と津田団地の会長さんなり皆さんと話し合って、一応、防災の集合場所が津田公園ですが、足の悪い方があそこまで行くのに津田団地東の入り口の方は、200メートル走れますか。そういう状態の場所です。ですから、住民として、皆様のご高齢な方の健康体、それから防災の関係に着眼を置いていただきたいと思います。強く希望します。ご検討願います。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。ご意見ありがとうございます。公園は松山市に全部で320以上の公園がございまして、ほとんどの公園を公園管理協力会という組織をつくっていただいて、地元の方が日常の管理をしていただいております。松山市としても高齢化が進む中で、色々なサポートをしております。ただ、地元の公園で地元の方が大切にして

いただくという趣旨で、草刈とかトイレ掃除とか、簡単なごみ拾いは公園管理協力会にお願いをしています。その中でベンチとか遊具が古くなったら、地元から要望をいただきましたら、予算の範囲内でございますけれども、適切に設置などさせていただきます。また、詳しい状況を出向いて調査をさせていただいて、話をお聞きしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【女性】 津田公園は、立派な遊具があるんです。ですけど、緑地帯がありまして、三角公園と俗に言うんですけど、そこは2人だけで草も引けない、ジャングルになっているんです。それを改善してほしいということです。そこには、会計で種を買ったりとかお金をいただいているらしいです。その会計は津田団地の会計報告にもありません。全く独立した状態。だから津田団地の住民の人たちは、今現在は津田団地のものじゃないから知らないという感じで現在あるんです。だから、そこらへんをお願いします。

【都市政策課長】 1度持ち帰らせていただいて、現場も詳しく調査をさせていただいて、また改めてご返答させていただくということですのでよろしくお願いいたします。

【市長】 私から先ほど財政のことについて、決まった財布の中でやらなきゃいけないんですという話をさせていただいたのですが、今、特にやらなきゃいけないのが、流れとして阪神大震災があつて東日本大震災が起こつて、こういう小学校もですけども、小学校・中学校の耐震化がまず必要だと。いざというときに避難場所にもなる小学校・中学校の体育館は、平成20年度に耐震化は完了していたんですけども、子どもが長い時間を過ごす場所である小学校・中学校の校舎の耐震化がまだできていなかったのので、これは急がなきゃいけない。私が就任したときには、平成33年度に松山市内の小学校・中学校は完了する予定だったんですけども、これは一刻も早くやらないといけない、まさに有効な公共工事だということで、思い切って4年前倒しをさせていただいて、平成29年度には松山市内の小学校の全部の校舎の耐震化が完了するようになっています。また、消防団の方が活動する、資材とかポンプ車を置いている消防団のポンプ蔵置所がありますが、耐震化ができていないところもありました。出動したくても壊れてしまって出動できないのはいけないので、ポンプ蔵置所の耐震化も進めているところです。公民館もまだ耐震化ができてないところがありましたので、公民館の耐震化を早くする。また、上水道・下水道の耐震化ができてないところがありましたので、その耐震化も急いでいるところでもあります。今、財政事情として、耐震化に特にお金がかかっている側面があるということです。皆さんの安心安全にかかわるところなので、これ

はできるだけ早く手を打たせていただいて、また、こうやって皆さんからお話をいただく中で、やるべきことをしっかりとやっていきたいと思っています。

【小学生】 味生小学校5年です。味生地区には、たくさんの公園がありますが、ボールで遊べる公園が大可賀公園ぐらいしかないので、もうちょっとボールで遊べる公園とか施設を増やしてほしいなと思っています。

【市長】 私からご説明をいたします。私は47歳になります。だいぶ年上ですけれども、昔は田んぼや畑がいっぱいあって、空き地もいっぱいあったんです。空き地でキャッチボールとかできたんですよ。企業さんが5つぐらいグラウンドを持っていたんですよ。たまに子どもたちが練習するときに貸してもらえたりもできたんですよ。でも、企業さんがグラウンドを持っていたのを手放すようになって空き地に家が建って、ボール遊びができるところが少なくなっているんです。そういう中で、松山市では、平成18年度からボール遊びのできる公園づくりをしています。松山市は市長への直接のメール制度がありまして、直接メールやお手紙が来るんです。こんなご意見がありました。公園のすぐ横に住んでいる中学校の女の子だったんですけど、「市長さん困ることがあるんです。私は公園のそばに住んでいるんですけども、ボールが家に飛び込んでくるんです。それがまず嫌なのと、ボールが飛び込んできて、勝手に家の中に入って来て、そのボール取っていくので何とかしてください。」というご意見をいただいたんです。ルールとマナーをきちんと守ってもらえるようにしなくちゃいけないですね。それと、小さい赤ちゃんが公園に来ているのに、その近所でバットを振り回したりとか、サッカーボールを蹴ったりしたら危ないでしょ。両方の意見があるということで、ちゃんとマナーを守るお約束をしてくれるところ、そういうルールを決めて地元の人も協力してくれるところということで、今、松山市の9つの公園でボール遊びができることにしています。毎年増やしていっています。今日、終わったらすぐに帰るわけではないので、地図を持ってきていますから、ここの公園でやりたいんですと教えてくれたら、私たちも地元公園管理協力会や地元の方にもその旨をお伝えして、ご意見をお聞きするなど、可能性について考えていきたいと思っています。

【男性】 別府分館長です。最近、事件が多くて警察関係とコンタクトを取っているんですけど、まず1つはセブンスター近くの民間の駐車場で、私の家の近くでもあるんですけど、7月の中頃だったと思うんですが、夜中にトラック約8台がタイヤ全部に釘刺しのパンク、それともっとひどいのは、スプレーで車体全部に吹きつけたことが民間の駐車場であって、2

週間ほどは警備員が夜11時ごろから朝の5時ぐらいまで来て、今現在は防犯カメラをつけて対処をしています。それから、新聞とかニュースにも出たと思うんですが、飯岡神社が放火され、ちょうど朝の散歩をしている人が見つけたのでよかったです。ボヤ程度でしめ縄が全部燃えたのと、梁が焦げたことがありました。それからまた数日して、公園の水洗トイレで詰まらしたことがありまして、実は、犯人はわかっただけなのですが、責任能力がないということですのですぐには逮捕できないそうです。私が特に心配しているのは、弱者、小さい子どもさん、それから老人あたりに危害を加えたときにどうなるか、それからボヤのときもそれで終わったからよかったものの、神社が燃えてしまったらどうなるかということを見ると、私も非常に心配しています。それから神社の場合は対策として、警察で防犯カメラをつけてもらっています。それと、宮総代や散歩している人も、一応お宮の上へ上がってもらうということで、そういう見張りとかは強化していますが、特に私が心配しているのは、そういう弱者に対して何か危害が及んだときに、それだけでは済まされんぞということがありましたので、皆さんにもちょっと考えていただきたいなと思ひまして発言させていただきました。

【市長】 これは周囲の目が大切なところになります。警察の方がずっと24時間365日見張っているということもなかなか難しいと思うんです。言われた件はいずれも犯罪ですから、警察の対応になろうかと思うんですけれども、私どもが考えているのが、やっぱりつながりを持っていただくこと。地区につながりがあれば、子育てのことも、悪いことをしていたら昔は親だけでなく近所のおいちゃん、おばちゃんが「こら、何しよんぞ」と怒ってくれた。子育てのこともつながりがあるとやっぱりいいですね。介護のことだって、防犯のことだって、やっぱりつながりがあると助かるんです。そういう活動として、青色パトロールを地域でやっていただいたり、交通指導員の方が通学のときに出ていただいてという活動があります。やっぱり悪いことする人も周りの目があると「ちょっとこれやったらいかんやろな」とガードができますので、もちろん行政として警察と連携してやるべきことをしっかりとやらせていただきますけれども、皆さんにも地域の目というのを強化していただいて、動けるようであれば動いていただければ、地域の防犯力が高まります。今日、冒頭で司会が申し上げたとおり、行政としてやるべきこと、行政と地域の皆さんが一緒になってやるべきこと、皆さんでできることというのがありますね。ありがたいことで、青色パトロールとか交通巡視員の方は、地域でできることとして動いてくださって非常にありがたいことです。この防犯のことも皆さんが

意識を持っていただくだけで変わる部分がありますので、我々からもタウンミーティングでこういうご意見出ましたと警察にもう一度お願いしておきますけども、皆さんもご協力いただけたらと思います。

【小学生】 味生小学校6年です。新田高校の近くの歩道のことですけど、歩道がとても狭くて、近くに新田高校と県立西中学校があるので自転車がとても多くて、渡るときに自転車と歩行者がぶつかるかもしれないくらいなので、できれば歩道を広げていただくか、歩行者が歩くところと自転車が通るところの区別をしていただけたらいいなと思います。

【都市政策課長】 どうもご意見ありがとうございます。あの場所は30年くらい前に歩道をつくった経験が私もございまして、よく知っているんですけども、確かに歩道が狭いですよね。高校生の方も通られますので、いろいろ危ない目に合われることもあると思うんですけども、歩道を広げるとなると土地の確保をしないと道路は広がらないということがあります。地元の方でいろいろ話し合っただけの協力いただけるのだったら、市としても検討はさせていただくんですけども難しい状態でございます。すみません。

【市長】 我々も安全安心ということを先ほど申し上げましたけれども、市民の皆さんの安全安心はものすごく大事にしたいところです。もともと松山の人間ですから、昔からあそこの道が狭いのは知っています。歩道を広げ歩くところを区分したい、自転車の人と自動車の人と分けたいと思うんですけども狭いんです。一般的な話ですけども、「いいですよ、ここ協力しましょう。道広げてもらって構いません。この土地を提供しますよ。」というのがないと道を広げることができないんです。松山市内にはそういうところがあります。どうしてもこの土地は持っておきたいので売ることができない、道にしてもらうことができないというところもあつたりします。また、道路の側に水路があるところですけども、水路もふたができればいいなと思うんですけども、これは大体農業をやっている方が使われています。農業やっている方からすると、ふたがあいてると柄杓ですくって水をくむこともできる。いざ溝が詰まったときに掃除がしやすいというので、ふたをあけていたほうがいいと言う声が比較的多い。ふたをしてしまうと、詰まったときになかなか対処ができない。ふたをしてしまうと広がるんですけども、広がったら場所によっては車のスピードが速くなって、逆に歩く人が危なくなるケースもあります。ですので、総合的に判断をしながら進めているところです。例えば、ふたができないのなら、棒があつて上に黄色に光るものがついている反射器をつけたりすることもできます。ガードレールをつくるとがっちり守られるから大丈夫じゃ

ないかというところもありますけれども、ガードレールをつけると、場所によっては沿道に住んでいる人の車の出入りがしにくくなる場所もあるんです。ですので、ガードレールのこととか反射器のこととか溝にふたをすとかさまざまなことを考えながら、とにかく安全安心をよくするんだというので松山市役所は動いているんですけども、総合的に判断をしながらというところなんです。新田高校さんのあのあたりのこともよく認識はしていますので、できるだけ安全安心に努めていきたいと思います。

【女性】 すいません。交差点の改善のことですけれど、場所は高岡町の太陽石油の交差点のところですが、あそこの南北線は右折車で阻まれてしまうため、常に渋滞しております。右折ラインと直進・左折を一緒にした2つのラインにして、歩道はちょっと狭めていただくとおそらく大丈夫だと思うのですが、以前に西郵便局のところもすごく混んでいたんですけど、最近改善されてよくなったなと思ったので、多分できないことはないと思うので、ぜひ改善をお願いしたいと思います。

【都市政策課長】 どうもご意見ありがとうございます。ご指摘いただきました交差点は旧空港通りのところの交差点ですけれども、どちらの道路も県道になっておりまして県に問い合わせをしました。「渋滞が発生していることは把握しております。その解消のために交差点の改良計画を今計画しているところであります。」ということで、今後、順次事業を進めていきたいと回答をいただいております。もう1つ、警察にも連絡をしまして、信号機について問い合わせをしました。この信号は高規格の信号といまして、交通量にあわせて赤とか青の信号が自動的に作動する信号につけかえをしましたとお聞きしております。今日のご意見もまた改めまして県に申し上げまして、また回答いただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

【市長】 私もしっかりと把握したいのですが、中華料理屋さんが側にあるところですか？違いました？

【女性】 松前へ行くほうの道路で、ガソリンスタンドの太陽石油がありますよね。ゆららの温泉のある道路です。

【市長】 あそこは計画があるんですね。わかりました。今日はありがとうございました。時間がまいりましたので、このあたりで一段落とさせていただきますけれども、この後、地図を持ってきておりますので、例えば溝が危なく感じるとか、道路が何とかならないのかとか、街灯のこととかありましたら、遠慮なくおっしゃっていただけたらと思います。今日、皆さんに前回の対応状況の話をさせていただいたのですが、こうやって言うていただくことによって、新田高校さんのところの青信号の5秒長くする

こととか、交差点をカラー舗装するとか、すぐできることもあります。市役所は3つの漢字です。市民の皆さんの役に立つ所で、市役所でないといけないと思いますので、これからも遠慮なく市役所に言っていただけたらと思います。今日、地域福祉の拠点のことについて出ましたけれども、例えば小野地区でありますと、大きな電気屋さんのところを改修して、今、地域福祉の拠点になっているところもあります。こういうやり方はできないんですけども、こういうやり方だったらできるんですよということも、お伝えすることができると思いますので、これから大事なことは市役所と皆さんとのキャッチボールがいつまでも続いていくことだと思いますので、これからも遠慮なく言っていただけたらと思います。今日は長きにわたりましたけれども、また皆さんの声を寄せていただければと思います。今日は長時間まことにありがとうございました。

— 了 —